

メドウフォックステール (英名：Meadow foxtail)



<特徴>

- ・和名：オオスズメノテッポウ
- ・通称：黒穂
- ・チモシーよりも葉が小さく茎が細いため収量が低い
- ・増殖は種子と根茎
- ・5月中旬出穂、下旬に開花
- ・開花から22日で種子の発芽能力を持つ
- ・発芽能力を持つ前に刈ると再度出穂する
- ・嗜好性が劣る
- ・チモシーの収穫時期には既に種子がある
- ・土壌 pH が低くても元気に生育
- ・収穫機に付着した種子で拡散
- ・チモシーに合わせて刈ると栄養価が大きく低下
- ・飼料としては問題が多い
- ・通常の草地更新では消えない

収量低下

嗜好性低下

成分注意

地下茎あり

選択性
除草剤なし



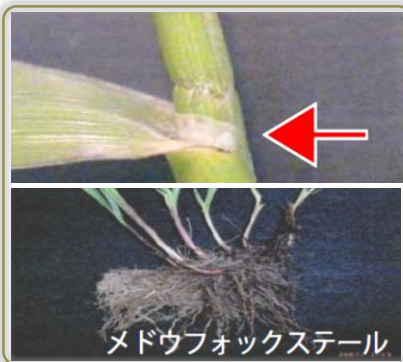
穂の形状。
5月中旬に出穂する



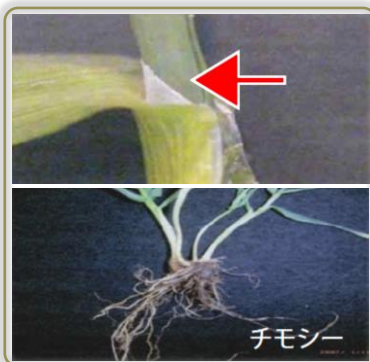
左が MFT、右は TY

見分けるポイント

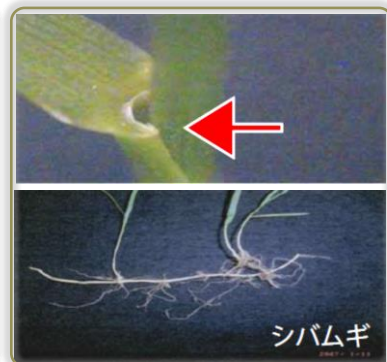
※下記写真「メドウフォックステール駆除への取り組み」より



メドウフォックステール
葉舌あり。地下茎あり



チモシー
葉舌あり。地下茎なし



シバムギ
葉舌なし。地下茎あり

侵入の特徴・更新方法

道路の法面や収穫作業機から草地に侵入。

対策は、とうもろこしを数年栽培するか、以下のような草地更新を行う。

- ①2番草収穫後に除草剤散布、②枯死後に耕起、③翌年5月に砕土・鎮圧、④雑草を発生させる、⑤8月上旬に除草剤散布、⑥すぐに施肥・は種・鎮圧。
- 草勢が強いオーチャードのは種が安全。

他にも更新時の注意点がある（R6年版営農改善資料を参照）